

せいけん
詩集

第百二十四篇

作：近藤せいけん

「小さな写真館」

小田急線本厚木駅 徒歩七分の
小さな写真館
店主兼カメラマンの
名物ヒゲおやじ 人物画が好き
撮影が楽しい
にこやかな笑いを誘い
自然な表情を写しとる
名人

今日も時代物のカメラの前に立つ
名物ヒゲおやじ 人物を撮る
お決まりの「ハイ、チーズ」とは
言わない
全身で笑いを誘う 動きをする
自然と微笑みが 出てくる
市井の中に 息づいている
本物のプロが ここにいる

生きた写真ができる
写真が 語っている

